

# ウクライナ避難民支援の

## これまでとこれから

### ～事例発表と支援者同士の ネットワーキング～



ロシアによるウクライナ侵攻から1年以上が経過し、日本には約2,000人の避難民が暮らしています。日本での避難生活も2年目に入り、避難民や支援者が直面する課題も変化しています。そこで、ウクライナ避難民支援に取り組む支援者団体が一堂に会し、相互の取り組みや経験について情報を交換しながら、これからの支援のあり方についてともに考えましょう。

2023年

7月4日(火)

13:00～17:00

■開催方法 zoom

■参加費 無料

■対象 避難民支援を担当している自治体  
大学、NPO、日本語学校等の実務担当者

■定員 300名

■申込みURL

<https://forms.gle/QGjVSSBDK8GGTbbe9>

■HP URL

<https://diversityjapan.jp/ukraineform20230704/>

## プログラム

全体司会:新居みどり (特定非営利活動法人 国際活動市民中心 多文化共生コーディネーター)

■開会あいさつ (日本財団)

■ウクライナ避難民の受入状況と

「外国人との共生のためのロードマップ」の解説 (法務省出入国在留管理庁)

■事例紹介

進行:田村太郎 (一般財団法人 ダイバーシティ研究所 代表理事)

・メロス言語学院 理事長補佐 事務局 香川陽子 (東京都豊島区)

・あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク

認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード 事務局スタッフ 加藤絢子 (愛知県名古屋市)

・公益財団法人 佐賀県国際交流協会 企画交流課長 矢富明德 (佐賀県)

■これからの避難民支援に向けて

・日本財団による取り組み紹介 神谷圭市

(日本財団 経営企画広報部 ソーシャルイノベーション推進チーム ウクライナ避難民支援室 リーダー)

■グループ討議①登壇者との意見交換

※グループに分かれて意見交換 (カメラオフでの参加も可)

■グループ討議②参加者間のネットワーキング

地域や属性ごとにグループに分かれ、相互に取り組みや課題の共有

■振り返り・全体共有・意見交換

〈申込みはこちらから〉

